



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月9日

上場会社名 日建工学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9767 URL <http://www.nikken-kogaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 皆川 曜児
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 長濱 龍夫 TEL 03-3344-6811
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,618	△18.0	△112	—	△126	—	73	—
29年3月期第1四半期	1,973	10.7	△23	—	△27	—	△23	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 81百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 △30百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	4.04	—
29年3月期第1四半期	△1.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	8,217	2,395	29.1
29年3月期	7,017	2,369	33.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 2,393百万円 29年3月期 2,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,000	△0.9	50	—	40	—	20	—	1.10
通期	9,100	△4.1	200	55.7	180	63.4	130	114.0	7.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）三省水工株式会社、除外 1社 （社名）

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	18,622,544株	29年3月期	18,622,544株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	370,216株	29年3月期	369,361株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	18,252,657株	29年3月期1Q	18,256,416株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想の前提条件等に関する事項につきましては、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や企業収益の改善などを背景に緩やかな回復基調となりましたが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある状況で推移しました。

当社グループにおきましては、当第1四半期連結累計期間は、東日本大震災の復興工事における海岸堤防、防潮堤工事の出荷が前年同四半期と比して減少したことに加え、型枠貸与事業、資材・製品販売事業ともに工事の進捗が鈍かったことから前年同四半期と比べ収益が減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、1,618百万円（前年同四半期比354百万円減）となり、営業損失112百万円（前年同四半期は23百万円の営業損失）、経常損失126百万円（前年同四半期は27百万円の経常損失）となりました。

事業別の売上高は、型枠貸与事業が276百万円（前年同四半期比21百万円減）、資材・製品販売事業が1,342百万円（前年同四半期比333百万円減）となりました。

利益につきましては、型枠貸与事業の営業損失が26百万円（前年同四半期は1百万円の営業利益）、資材・製品販売事業の営業損失が85百万円（前年同四半期は25百万円の営業損失）となりました。

前年同四半期より型枠貸与事業、資材・製品販売事業ともに減収、減益となりましたが、平成29年6月23日三省水工株式会社を子会社化したことにより、負ののれん発生益169百万円が生じ、親会社株主に帰属する四半期純利益は73百万円（前年同四半期は23百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,217百万円となり、前連結会計年度末比1,199百万円の増加となりました。

その主な要因は、当第1四半期連結会計期間末に連結子会社が増加したことにより、現金及び預金の増加986百万円、商品及び製品の増加196百万円、固定資産の増加335百万円および受取手形及び売掛金、電子記録債権の減少400百万円等によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は5,821百万円となり、前連結会計年度末比1,173百万円の増加となりました。

その主な要因は、当第1四半期連結会計期間末に連結子会社が増加したことにより、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金、長期借入金の増加1,500百万円および支払手形及び買掛金の減少424百万円、退職給付に関わる負債の増加129百万円等によるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,395百万円となり、前連結会計年度末比26百万円の増加となりました。

その主な要因は、剰余金の配当ならびに親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加18百万円、およびその他有価証券評価差額金の増加9百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結子会社の増加に伴う業績予想の修正につきましては、現在、精査中でありますので、精査ができ次第お知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	407,707	1,394,388
受取手形及び売掛金	3,478,687	2,983,575
電子記録債権	198,945	293,080
商品及び製品	1,753,620	1,949,700
原材料及び貯蔵品	6,958	15,162
繰延税金資産	6,700	38,900
その他	172,525	213,918
貸倒引当金	△9,945	△9,508
流動資産合計	6,015,200	6,879,217
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	328,000	326,480
建設仮勘定	9,100	9,100
その他（純額）	166,177	360,385
有形固定資産合計	503,277	695,965
無形固定資産	17,071	20,481
投資その他の資産		
投資有価証券	295,916	352,045
長期貸付金	76,500	76,500
その他	335,194	448,041
貸倒引当金	△225,704	△255,027
投資その他の資産合計	481,905	621,559
固定資産合計	1,002,254	1,338,006
資産合計	7,017,455	8,217,223
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,979,521	2,555,424
短期借入金	610,000	1,080,000
1年内返済予定の長期借入金	124,692	349,641
未払金	100,968	148,845
リース債務	195,686	204,640
未払法人税等	47,379	6,586
その他	145,801	101,957
流動負債合計	4,204,048	4,447,096
固定負債		
長期借入金	211,109	1,016,742
リース債務	146,212	134,456
繰延税金負債	3,050	3,874
退職給付に係る負債	53,530	182,539
その他	30,311	36,686
固定負債合計	444,215	1,374,299
負債合計	4,648,263	5,821,395

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,427	1,004,427
資本剰余金	541,702	541,702
利益剰余金	832,662	851,607
自己株式	△63,479	△63,625
株主資本合計	2,315,313	2,334,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,279	59,281
その他の包括利益累計額合計	50,279	59,281
非支配株主持分	3,598	2,433
純資産合計	2,369,191	2,395,828
負債純資産合計	7,017,455	8,217,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,973,264	1,618,557
売上原価	1,626,570	1,357,834
売上総利益	346,694	260,723
販売費及び一般管理費	370,440	372,934
営業損失(△)	△23,745	△112,210
営業外収益		
受取利息	208	292
受取配当金	2,450	2,450
たな卸資産処分益	1,079	5,153
為替差益	—	17
その他	344	799
営業外収益合計	4,083	8,713
営業外費用		
支払利息	5,114	4,120
支払手数料	—	17,595
為替差損	36	—
手形売却損	2,395	743
その他	120	171
営業外費用合計	7,666	22,631
経常損失(△)	△27,329	△126,128
特別利益		
負ののれん発生益	—	169,318
特別利益合計	—	169,318
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△27,329	43,189
法人税等	△3,343	△29,350
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,985	72,540
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△238	△1,164
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,747	73,704

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,985	72,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,525	9,002
その他の包括利益合計	△6,525	9,002
四半期包括利益	△30,511	81,542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,272	82,707
非支配株主に係る四半期包括利益	△238	△1,164

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、三省水工株式会社の発行済株式の全部を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	297,712	1,675,552	1,973,264
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	297,712	1,675,552	1,973,264
セグメント利益又は損失(△)	1,623	△25,369	△23,745

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△23,745
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△23,745

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	276,510	1,342,047	1,618,557
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	276,510	1,342,047	1,618,557
セグメント損失(△)	△26,380	△85,830	△112,210

2. 報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△112,210
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△112,210

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

（重要な負ののれん発生益）

当第1四半期連結累計期間において、三省水工株式会社を子会社化したことに伴い、負ののれん発生益169,318千円を特別利益に計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。